

## 「卓球部での三年間」 利尻町立利尻中学校3年 関根 瑛斗

僕は元々卓球部に入っていたが、その間の約三年間が一番楽しかったので振り返っていいと思う。まず僕は部活に入る時、何が目的で入ったかという一つ目は、少し卓球を経験したことがあり、ちょっとやってみたいなと思ったからだ。二つ目は人数が少なく、一年生から試合を経験できると思ったからだ。経験を一年の頃からできるのは、人数の多い部活と比べて有利になるので今でも良い選択をできたと思う。そして卓球部に入ってから卓球のルール、絶対に挨拶をすること、物を大切にすることなどを学び今後の自分のためになることを学んだ。

そして最初の中体連では団体戦、個人戦の二つに参加した。とても緊張しながらもどちらも一勝をあげることができたので良かった。その後は中体連の反省をして少しずつ上手くなるように練習をした。その後には道新杯の団体戦で全道行きを決めることができた。全道ではボコボコにされ悔しかったがそれを糧にしてさらに練習を積んだ。そして二年生の部活動紹介では僕たちの傑作である「ポケピン」をやった。手ごたえは最高でそのおかげで新入生が二人も入ってきたのでとても嬉しかった。そして新入生二人に卓球を教えながら、全道に行けるように仲間と共に一生懸命練習をして頑張ってきた。その結果は団体戦で全道、個人戦で六位をとり無事に全道を決めることができた。全道では両方とも去年と同じくボコボコにされ、自分が勝てば一勝できた試合で負け、とても自分の力不足を思い知らされた。その後は自分の苦手なドライブやバックの攻撃を練習し続け、全道での一勝を目指し頑張った。そのあとは最高学年になり勉強や進路などで忙しくなったが、自分の長所と短所を育てて頑張った。そして中体連では体力切れなどになるなどのハプニングもあったが、見事二位で全道行きを決めることができた。ですが団体は二位で全道に行けず、皆で全道に行くことが目標だったのでとても悔しかった。全道では皆の気持ちを全道に持っていき勝つことを自分の胸に刻み込んだ。そして全道当日いつもより緊張せずに勝つという気持ちのまま試合にのぞむことができた。結果は一勝することができ、とても嬉しかった。

そして僕は帰ったら皆に言おうと思った。「勝てたぞ！！」とても嬉しく泣きそうだった。ありがとう卓球。ありがとう利尻中卓球部！